

## 臨床研究グランプリ 抄録投稿規定

- 文字数は400字程度（タイトル、著者名は除く）
- 臨床試験、臨床研究の計画案を抄録にして投稿してください。
- 「研究の種類」「背景」「目的（PICO）」を記載してください。
- 症例数については現実的な数字をとりあえず書いていただいてもよいです。

評価は、新規性・独創性・具体性・実現可能性・倫理性・臨床的重要性などについて京都大学消化管外科臨床研究担当スタッフ・大学院生で行います。（当日の本人発表はありません）。

グランプリ受賞抄録に関しては、臨床研究担当大学院生がサポートの上、共同で臨床研究を進めていくことを検討させていただきます。

### （抄録例）

タイトル：痔核手術における手洗いの必要性について

京都大学消化管外科 肥田侯矢

研究の種類：多施設共同ランダム化比較試験（後ろ向き観察研究、前向きコホート研究、などを記載）

背景：痔核手術は不潔手術の一つであり、手術前の手洗いの必要性については疑問がある

目的：痔核手術において、手洗いあり、手洗いなし（ガウン、手袋は着用）の2群間で、感染性合併症の発生頻度について比較を行う。

方法：

P：対象施設において痔核手術を受ける患者（対象患者: Patients）

I：手洗いなし（新規治療 または評価対象治療:

Intervention)

C：手洗いあり（標準治療: Comparison)

O：感染性合併症の発生頻度（評価項目: Outcome)

手洗いありの合併症発生頻度を20%と想定し、これに対する非劣性を検定する。

目標症例数：500例 新規治療のリスク比の許容範囲を1.5以下とし、検出力を80%として算出  
（可能であれば理由も）

研究期間：3年間 参加施設数を10施設、各施設の年間登録症例数を20と見積もると3年で600例の登録が可能となる。  
（可能であれば理由も）

応募は京都大学外科交流センターまでFAX（075-751-3131）

またはメール [kuhpgeka@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:kuhpgeka@kuhp.kyoto-u.ac.jp) までお願いします。

応募締切 2022年10月1日（土）